一　般　質　問

発言者　　妻　鹿　匡　登

発　　言　　の　　要　　旨
1　幼保小の架け橋プログラムの推進について
(1) 本市における、幼保小の架け橋カリキュラム開発校区の成果と課題
(2) 推進校区での現在の取組状況
(3) 今後、市内全校区へ持続可能な形で展開していくため、どのように取り組んでいくのか。
2　香川漆芸を生かした都市ブランド向上と次世代への継承について
(1) カンヌでの展示等を契機として、都市ブランド向上に向け、香川漆芸の海外発信や販路拡大にどう取り組むのか。
(2) 工房見学や製作体験、購入までを一体化した漆芸工房ツーリズムのような仕組みづくりに取り組む考え
(3) 現代の暮らしに合う商品開発や異業種連携をどのように進めるのか。
(4) 子供たちが実際に香川漆器に触れる機会をさらに充実させ、香川漆芸を次世代へ継承していく考え
3　ＡＩ活用とサイバーセキュリティー対策について
(1) 行政ＤＸを推進する上で、安全性を確保しながらＡＩの活用をどのように進めていくのか。
(2) サイバー攻撃に対して、これまでどのような対策を講じてきたのか。
(3) 先端ＡＩを悪用したサイバー攻撃について、本市はどのような認識を持っているのか、また、今後どのようにサイバーセキュリティーの対策に取り組んでいくのか。